

論点整理(素案)についての意見

以下の通り、意見を申し上げますので、よろしくお取り計らいのほど、お願い申し上げます。

1. 人事評価情報等の収集・活用について(P4)

公正・中立な人事、適材適所の人事を行うためには、国家公務員全体の省庁横断的な「人事情報管理システム」を整備し、国家公務員に関する人事情報を一元管理できる仕組みを整えることが大切と考えます。

幹部職員等の人事情報管理は、内閣人事局で一元管理することとなっておりますが、各省職員についても、人事評価制度に基づいた個々の能力や役割・実績に基づく公正な評価（いわゆる人事情報）等をヒストリカルに把握できる仕組みが不可欠です。内閣人事局と統一したコンセプトで作られた情報システムで管理することによって、一般職員の時代から連続的な人事管理ができるようになると考えます。

2. 国際性の向上について(P9)

2-5 国際性の向上の部分は非常に重要な視点ですので、量的にもう少し書き込んではいかがでしょうか。国際性の向上は幹部候補だけでなく、国家公務員全体に必要であり、入省時から素養を身につけていくべきものです。

さらに付け加えるなら、国際競争力（例えば、語学力、本質を見抜く力、トータルなコンセプトを描ける力、プロジェクト・マネジメント能力、したたかな交渉力など）を身につけた人材を育成していくことが重要です。国際性の向上といっても、どのくらいの能力を身につけた人材をどのくらい育成していくのか、しっかりした目標管理が必要であると考えます。

3. 国家戦略スタッフ・政務スタッフについて(P6)

本日の会合でも申し上げましたが、当ワーキングでは国家戦略スタッフ等の人数規模について、十分な議論がなされておらず、各メンバーの共通イメージが出来上がっておりません。従って、人数規模については、現時点では不明のため、記載しない方がよいと思います。また、本件は、今回の予算措置に関係する案件ではありませんので、予算関連項目とは切り離して議論されるべきものと考えます。

以上